



I 第 15 週の発生動向 (2025/4/7~2025/4/13)

1. 水痘については、東津軽+青森市保健所管内で**警報**が継続しています。
2. 伝染性紅斑については、東津軽+青森市保健所及び上北保健所を除く**4 保健所管内**で**警報**が継続しています。
3. 百日咳については、第 2 週以降、複数の保健所管内からの報告が続いており、特に、三戸+八戸市保健所管内の報告数が多い状況が続いています。手洗い等の基本的な感染対策の徹底をお願いします。

※急性呼吸器感染症の調査開始に伴い定点数を見直しています。なお、定点数の変更による警報・注意報の基準値への影響については、現在、国及び国立健康危機管理研究機構が確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

II 第 15 週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

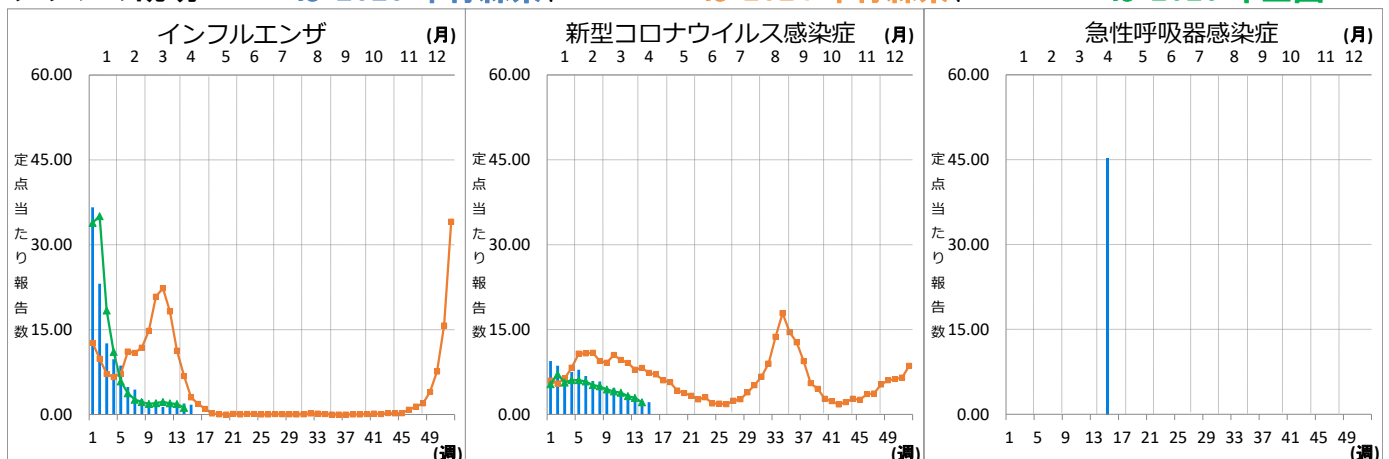
青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」：患者報告無し。

		東青 (東津軽+ 青森市保健所)		中南 (中南保健所)		三八 (三戸+ 八戸市保健所)		西北 (西北保健所)		上北 (上北保健所)		下北 (下北保健所)		青 森 県 計		前週 からの 増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
急性 呼吸器 感染症	インフルエンザ	27	2.45	29	2.90	15	1.50	12	2.00	3	0.33	4	0.67	90	1.73	-23
	新型コロナウイルス感染症	23	2.09	17	1.70	29	2.90	11	1.83	23	2.56	10	1.67	113	2.17	-24
	急性呼吸器感染症	709	64.45	396	39.60	346	38.44	335	55.83	301	33.44	226	37.67	2313	45.35	
小児科	RSウイルス感染症	5	0.83	9	1.50	7	1.00	5	1.00	1	0.17			27	0.79	-5
	咽頭結膜熱	2	0.33					11	2.20					13	0.38	2
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.67	9	1.50	9	1.29	10	2.00			3	0.75	35	1.03	0
	感染性胃腸炎	47	7.83	25	4.17	46	6.57	40	8.00	17	2.83	12	3.00	187	5.50	12
	水痘	26	4.33	2	0.33	1	0.14			1	0.17			30	0.88	14
	手足口病			1	0.17					5	0.83			6	0.18	-6
	伝染性紅斑	8	1.33	10	1.67	21	3.00	9	1.80	5	0.83	8	2.00	61	1.79	-3
	突発性発しん	2	0.33	1	0.17	4	0.57	1	0.20					8	0.24	3
	ヘルパンギーナ															0
	流行性耳下腺炎															0
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎															0
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎	1	1.00									4	4.00	5	0.83	1
	無菌性髄膜炎															0

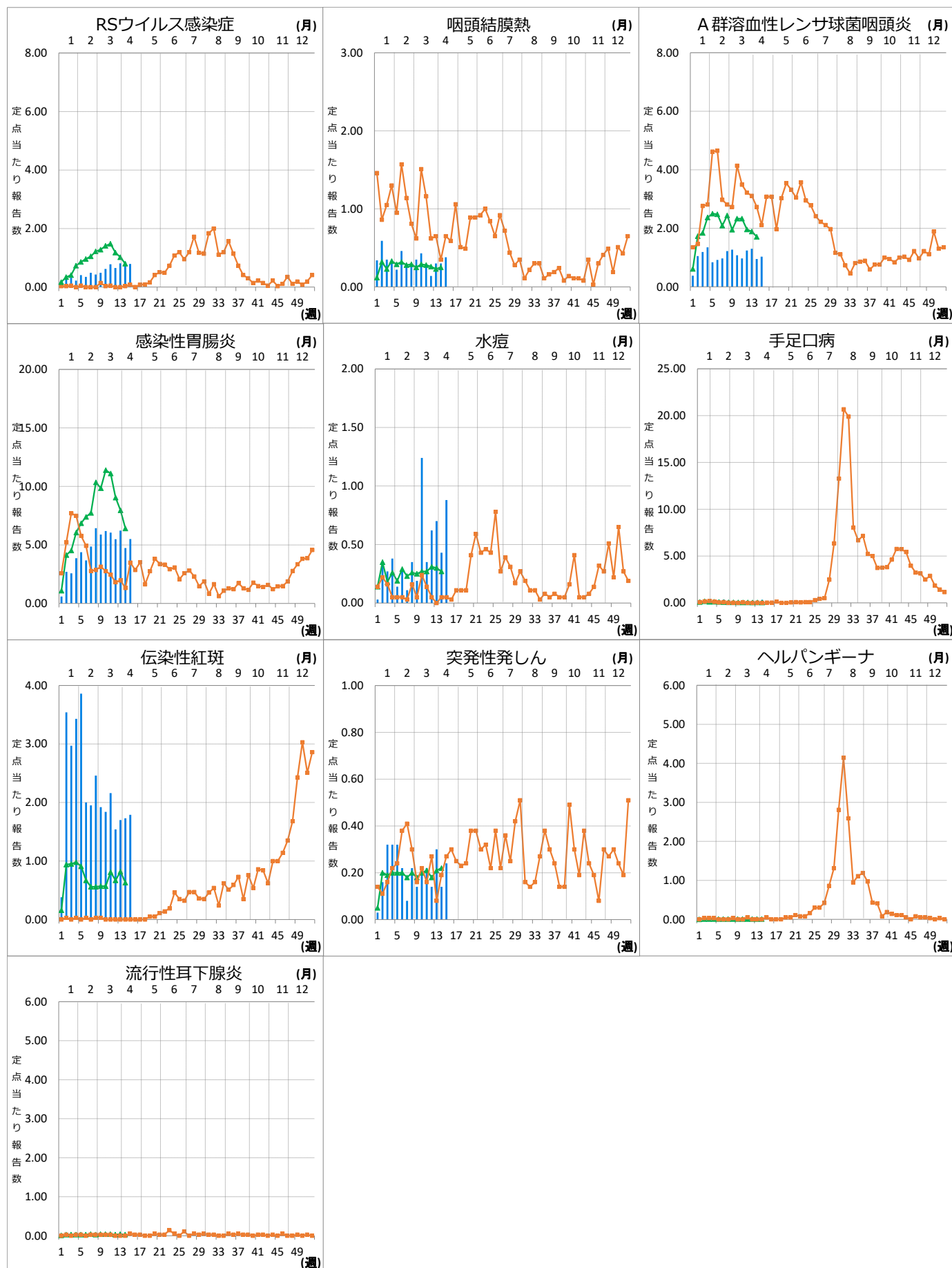
III 定点把握対象疾患週別推移 (急性呼吸器感染症定点) (2025 年第 15 週、ただし全国は前週)

グラフの説明 は 2025 年青森県、 は 2024 年青森県、 は 2025 年全国



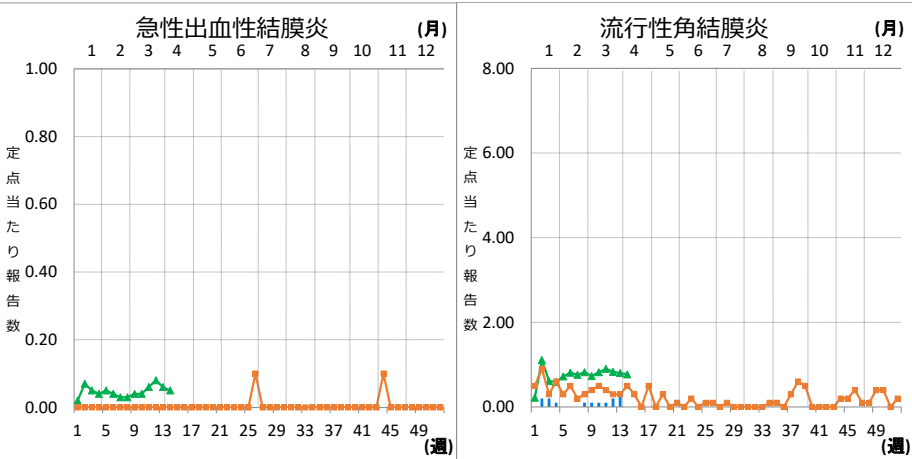
Ⅳ 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2025 年第 15 週、ただし全国は前週）

グラフの説明  は 2025 年青森県、 は 2024 年青森県、 は 2025 年全国



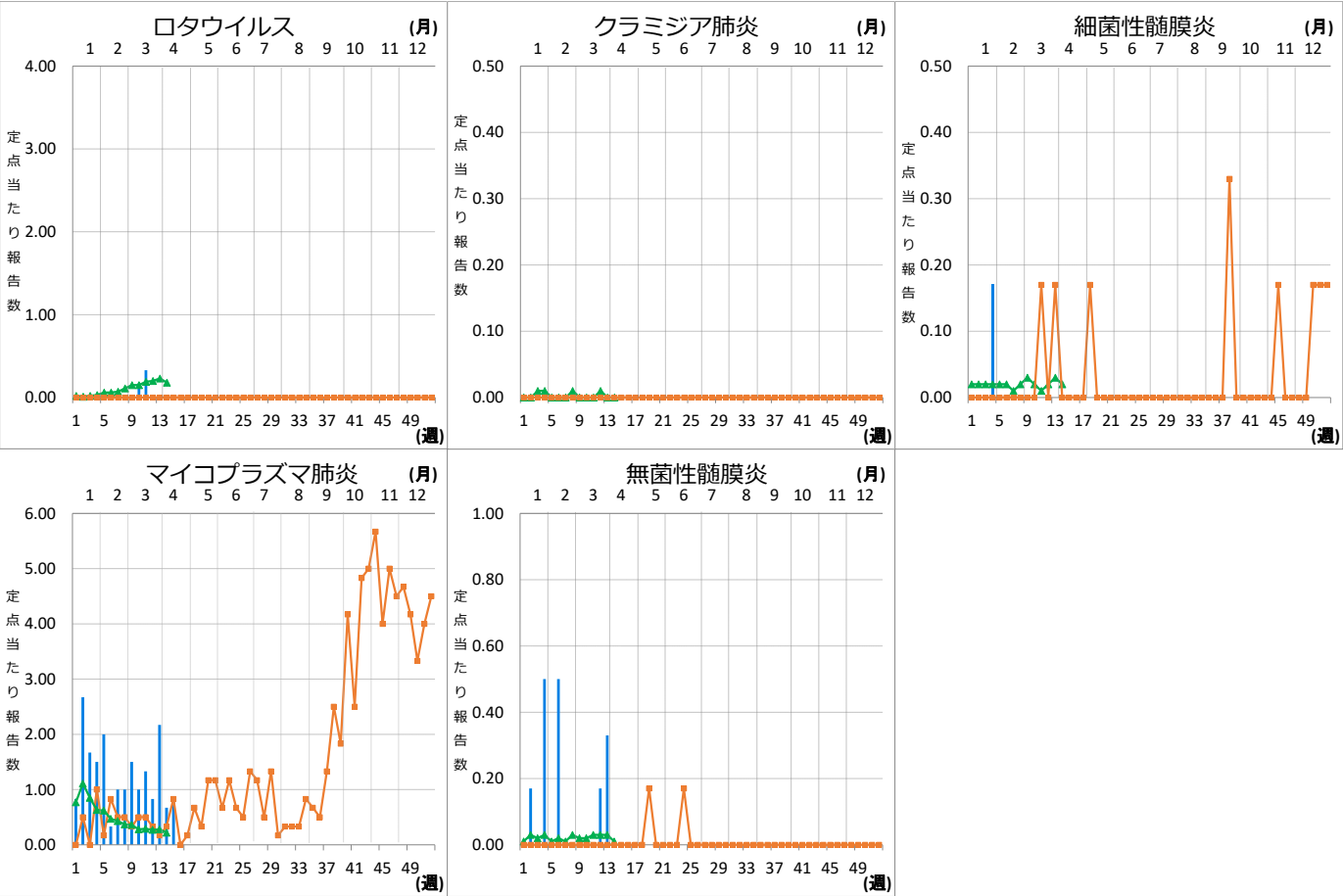
V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2025 年第 15 週、ただし全国は前週）

グラフの説明👉**——は 2025 年青森県、■——■は 2024 年青森県、▲——▲は 2025 年全国**



VI 定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2025 年第 15 週、ただし全国は前週）

グラフの説明👉**——は 2025 年青森県、■——■は 2024 年青森県、▲——▲は 2025 年全国**



Ⅶ 急性呼吸器感染症 (ARI) 病原体検出情報

(1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数 (第 15 週～)

急性呼吸器感染症	2025年							
	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週
提出検体数	11							

(2) 検出された病原体の週別推移

検査中のため、現時点でデータはありません。

Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況 (第 15 週)

- ・結核(二類感染症)：中南 1 人、西北 1 人 (2025 年計：29 人)
- ・百日咳(五類感染症)：青森市 1 人、八戸市 20 人、下北 1 人 (2025 年計：134 人)

Ⅸ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況 (2025 年第 12 週～2025 年第 15 週)

週	東青 (東津軽保健所+ 青森市保健所)	中南 (中南保健所)	三八 (三戸保健所+ 八戸市保健所)	西北 (西北保健所)	上北 (上北保健所)	下北 (下北保健所)
12	結核1人	劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人 侵襲性インフルエン ザ菌感染症1人	結核1人 侵襲性肺炎球菌感 染症2人 百日咳12人		百日咳1人	結核1人
13			百日咳13人	梅毒1人 百日咳1人	結核1人	
14	百日咳2人		百日咳12人	百日咳4人	結核1人 侵襲性肺炎球菌感 染症1人	百日咳2人
15	百日咳1人	結核1人	百日咳20人	結核1人		百日咳1人

第 12 週に下北保健所管内で結核の届出が 1 件、第 13 週に西北保健所管内で百日咳の届出が 1 件、第 14 週に八戸市保健所管内で百日咳の届出が 3 件、西北保健所管内で百日咳の届出が 4 件ありましたので、追加しました。

X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2025 年第 1 週～第 14 週までの累計）										
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	エムボックス
累積報告数	3328	3	12	328	7	2	131	41	5	1
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ポツリヌス症	マラリア
累積報告数	3	1	1	2	4	36	40	3	1	6
分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	439	1	117	59	491	8	195	6	42	455
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症
累積報告数	197	7	218	20	1329	133	3453	40	21	26
分類	五類	五類	五類	五類						
疾病名	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症						
累積報告数	5652	5	66	4						

青森県（2025 年第 1 週～第 15 週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	つつが虫病	レジオネラ症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症
累積報告数	29	4	1	3	5	1	1	3	1	2
分類	五類	五類	五類							
疾病名	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	百日咳							
累積報告数	8	5	134							

XI 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日報告はありませんでした。

XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2025 年第 15 週

報告週	施設種別	発症者数	管轄保健所
第15週	児童・婦人関係施設等	41	青森市保健所
第15週	児童・婦人関係施設等	11	西北保健所
第15週	障がい関係施設	10	中南保健所

2025 年報告件数及び発症者数

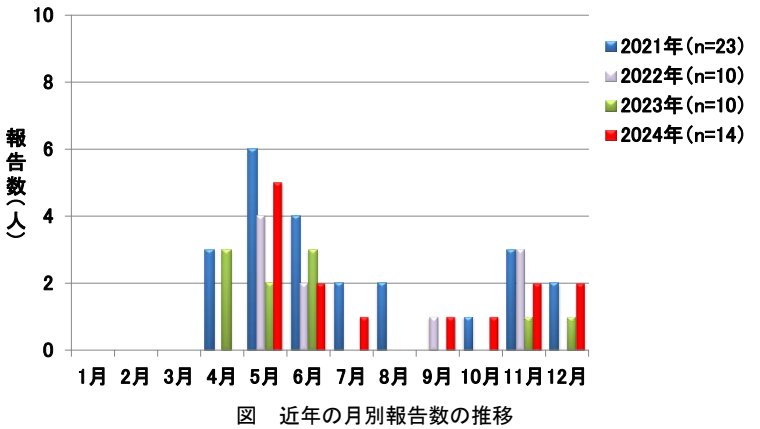
月(週)		1月	2月	3月	4月				5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
施設種別		1-5週	6-9週	10-13週	14週	15週	16週	17週	18-22週	23-26週	27-31週	32-35週	36-39週	40-44週	45-48週	49-52週	(施設別)
介護・老人福祉関係施設	件数	1	4	4	1	0											10
	発症者数	7	70	69	28	0											174
児童・婦人関係施設等	件数	4	10	8	2	2											26
	発症者数	74	228	136	31	52											521
障がい関係施設	件数	0	2	2	0	1											5
	発症者数	0	37	25	0	10											72
その他施設	件数	0	0	0	0	0											0
	発症者数	0	0	0	0	0											0
計(月別)	件数	5	16	14	6												41
	発症者数	81	335	230	121												767

感染症の窓

つつが虫病

つつが虫病は、つつが虫病リケッチア (*Orientia tsutsugamushi*) を保有するツツガムシ (ダニの一種) に刺されることによって発症する感染症です。全身倦怠感、食欲不振とともに頭痛、悪寒、発熱などを伴って発症し、体温は 40℃ にも達することがあります。重症になると、肺炎や脳炎症状をきたすこともあります。

青森県内における近年の月別報告数の推移は図のとおりです。本県では、4 月から 6 月にかけて報告数が最も多くなりますが、7 月以降も一定の報告があります。また、過去には 1 ～ 3 月にも患者報告があった例があり、2025 年には 1 月に 1 件の報告があるなど、1 年を通じて罹患する可能性がありますので注意が必要です。



ダニは、山林や河川敷などの草地に広く分布しているため、つつが虫病が多発する時期には、山林等には極力立ち入らないことが最も有効な予防策です。やむを得ず山林等に立ち入る際には、長袖、長ズボン、長靴、手袋などを着用して素肌の露出は避け、忌避剤 (DEET 等) を適宜使用しましょう。また、山林等での作業後は、早めに着替えて洗濯するとともに、入浴して体に付着したダニを洗い流すようにしましょう。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。📄 [ダニ媒介感染症\(厚生労働省 HP\)](#)

